

教科研究チーム  
が提案する

## 授業づくりで大切にしたいポイント

置賜教育事務所では教科研究プロジェクトチーム（今年度は4教科）を組織し、1年間『考える力』をはぐくむ教科指導改善研究会」による研究を進めて参りました。2月に実施されました本研究会（最終回）では、各教科研究員の今年度の実践についての交流が行われ、1年間の研究成果についてチームで共有を図りました。

また、1年間の研究を基に、各教科チームごと3点の「授業づくりのポイント」と、「キャッチフレーズ」について協議し、以下のようにまとめました。それぞれの教科の授業で大切にしたいポイントが詰まっておりますので、今後の授業づくりの参考にいただければと思います。

### 小学校 社会

教科研究員 徳重 馨（米沢市立西部小学校）  
守岡 太郎（高畠町立糠野目小学校）  
曾根原 隼（飯豊町立第二小学校）

#### 子供と社会をつなぐ単元を通した課題を設定し、児童自らが各時間の学びを関連付けながらアクティブに思考する授業に！

- 導入時の効果的な資料提示により、子供の気付きや疑問を生かした課題づくりをする。
- 社会的事象に対する見方・考え方を育むことで、子供たちが見通しを持って、主体的・協働的に課題解決できるようにする。
- 自分と社会的事象とのつながりを実感し、新たな課題や学習意欲につなげていくことができる振り返りの場を設定する。

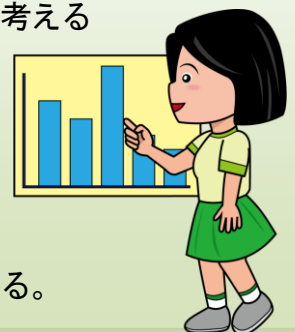


### 小学校 算数

教科研究員 寒河江正人（米沢市立北部小学校）  
大地 凌（高畠町立高畠小学校）  
江口 和輝（白鷹町立蚕桑小学校）

#### 思わず考えたくなる問題や場面を計画し、子供が「考えることが楽しい」と思える授業に！

- 子供が考えたくなるような魅力的な題材や問題を単元の中に位置付け、考える楽しさに触れたり解いた達成感を味わったりする機会を大切にする。
- 困り感やつぶやき等、素の子供の思いや言葉を引き出すこと、子供が表現した言葉そのものを授業や板書、めあてやまとめに生かすことを大切に、子供の思考で授業を組み立てる。
- 1問の解決のみで終わらず、見方を広げたり新たな見方に触れたりする場面や問題まで計画し、子供自らが考えを広げようとする姿を大切にする。



# 中学校 国語

教科研究員 須藤 優 (米沢市立南原中学校)  
奥山 優美 (南陽市立赤湯中学校)  
吉川 和宏 (高畠町立高畠中学校)

## 実生活とつながりのある課題を設定し付けたい力を絞ることで、生徒自身が身に付けた言葉の力を自覚できる授業に！

- 他教科や実生活とのつながりを考えた課題を設定することで、目的意識や相手意識を持たせ、生徒の主体性を引き出す。
- 付けたい力に迫る教師の働きかけや視点を明確にした相互評価を取り入れ、生徒が学んだことを一層自覚できるようにする。
- 付けたい力を教師と生徒が共有することで、その力がついたかどうか考えながら学び、言葉の力の高まりを実感できるようにする。

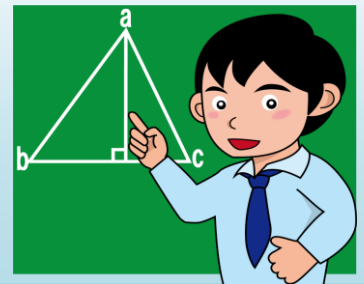


# 中学校 数学

教科研究員 渡部 容平 (米沢市立第四中学校)  
横澤 俊彦 (長井市立長井北中学校)  
小林 邦弘 (飯豊町立飯豊中学校)

## 生徒の新たな気づきを生み出す授業に！

- 視覚的な捉えや操作を生かして、課題と出会わせる。
- 意欲的な学びを生むために、生徒の言葉や発想、既習事項とのつなげ方を大切にし、解決の見通しを持たせる。
- 「わかる」「できる」を実感させるため、チェックテストや振り返りを行い、学びの足あとを残す。



今年度の取組の成果を「実践記録集」としてまとめ、置賜教育事務所HP

【<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/706003/>】にアップします。

教科研究員の先生方の実践（指導案等）も掲載しますので、ぜひご覧ください！

学校教育指導の重点リーフレット「おきたまの教育（平成30年度版）」発行に向けて、現在準備を進めております。

リニューアルされた「おきたまの教育」は、4月2日（月）に各学校にお届けする予定です。先生方一人に1枚ずつお配りしますので、校内研究の推進、授業づくり、集団づくり、体づくり等にご活用下さい。

## おきたまの教育 平成30年度置賜教育事務所 学校教育指導の重点

人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり  
つなぐ いのち、学び、地域～

<p><b>豊かな心を育む</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめの防止</li> <li>○計画的・継続的な実践</li> <li>○道徳の授業を基とした道徳教育の充実</li> </ul>	<p><b>カリキュラム・マネジメントを推進する</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○育てたい資質・能力の共有</li> <li>○学校課題の選択と集中</li> <li>○教育内容の質の向上を目指した評価サイトの構築</li> </ul>	<p><b>教師の力を高める</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○少人数のよさを生かした数研実践</li> <li>○「担任力」と連携を育む校内研修の充実</li> </ul>	<p><b>子供の育ちと学びをつなぐ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域及び小中連携の充実</li> <li>○家庭・地域との連携・協働の推進</li> </ul>
<p><b>授業を中核に、生きぬく力を育む</b></p>			
<p><b>考える力を育む授業づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 子供に力をつける個別学習の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体性を引き出し、深い思考に導くことができる課題の設定</li> <li>○自己や他者との対話を進め、考えを広げ深める、協働的な学びの実現</li> <li>○思考の過程や自分の成長、学ぶことのよさを表出できる振り返りの授業の実施</li> </ul> </li> <li>② 育てたい資質・能力を基盤とした単元・授業計画             <ul style="list-style-type: none"> <li>○確かな見識をもとに、子供の姿で具体化した、一貫性のある目標・指導・評価と支援</li> <li>○子供の多様な考えを生かす教材研究と、思考を深め、確かなものにするための教師的コーディネート</li> </ul> </li> <li>③ 授業の発展力を高める校内研究の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○子供に力付けられることのできた授業を事後研究会</li> <li>○研究の日常化に向けた次の一手の共有</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>自尊感情を育む集団づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 自己指導能力を育む指導者の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒指導の推進を基にした授業の実践</li> <li>○主体性を育む授業会・生徒会活動の工夫</li> <li>○地域とともにつくる体験活動の充実</li> </ul> </li> <li>② いじめの防止に向けた取組             <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育する「学校いじめ防止基本方針」に対するための評価と改善</li> <li>○児童生徒にとっての働きあふれる学びづくりの推進（「すくすく」等導入）</li> <li>○部活動（クラブ活動等）におけるいじめの未然防止、早期発見・適切な対応の推進</li> </ul> </li> <li>③ 特別活動の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○各活動・学校行事で、付けたい力を明確にした指導計画の作成と見直し</li> <li>○確かな見識、自主的、実践的な態度の育成を目標とした教育活動の充実</li> </ul> </li> </ul>		
<p><b>探究学習とは…</b></p> <p>「自ら課題を設定し、基礎的な知識・技能と思考力・判断力・表現力を総合的に活用しながら、主体的・協働的に解決に取り組む学習」</p>	<p><b>健康でたくましく体づくり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 豊かな体を育む学校体育の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○運動の楽しさや喜びを実感できる授業の推進</li> <li>○学校・家庭・地域連携した体づくりに取り組む</li> </ul> </li> <li>② 主体的な判断力・実践力を高める健康・安全教育の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>○心身の健康を保持増進するため、自らの課題を自ら発見し自ら解決を目指す授業の充実</li> <li>○他者のいのちを守るための防災・防犯・交通安全教育</li> <li>○学校と家庭・地域が連携した通学路・生活習慣の形成（生徒システム・食育等）</li> </ul> </li> </ul>		
<p><b>特別支援教育 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 校内支援体制の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員の統一した役割と連携強化</li> <li>○学校支援センターや特別支援センターの活用と連携</li> </ul> </li> <li>② 子供の特性に応じた指導・支援の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○個別の教育支援計画を活用した継続的な支援と個別の指導計画に基づいた適切な指導の実施</li> <li>○通常の学習における適切な指導と支援</li> </ul> </li> <li>③ 共生社会の形成に向けた基礎づくりの推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>○インクルーシブ教育システムの考え方を踏まえた交流及び小中連携</li> <li>○障がいのある子供一人一人に適切な合理的配慮の提供</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>幼少児童教育 自性と思いやりを育む幼児教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 信頼される幼児指導者の推進             <ul style="list-style-type: none"> <li>○各園の特色を大事にした教育課程の創造</li> <li>○障がい児の受け入れ体制づくり</li> </ul> </li> <li>② 自性と思いやりを育む指導者の充実             <ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な指導実践の工夫</li> <li>○子供の成長を促す教師の充実に取り組む</li> </ul> </li> <li>③ 育ちと学びをつなぐ小学校、家庭、地域との連携             <ul style="list-style-type: none"> <li>○幼児期の教育と小学校以降の教育の円滑な接続</li> <li>○幼児小連携スタートプログラムの活用</li> </ul> </li> </ul>		